

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の緊急時対策支援システムに伝送する情報について

2. 日 時：令和3年6月29日 15：00～15：40

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、平野室長補佐、宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

落防災専門官

日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

保安管理部危機管理課 技術副主幹 他9名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、核燃料サイクル工学研究所における緊急時対策支援システムへ伝送する情報の抽出について、緊急時活動レベル(以後、「EAL」という)にあわせた説明があった。

原子力規制庁より、核燃料サイクル工学研究所の再処理施設が、原子力災害対策指針の表2に示す「各緊急事態区分を判断するEALの枠組みについて」の8.再処理施設に該当することを理解した上で、緊急時対策支援システム(以後、「ERSS」という)への伝送項目の抽出すること、更にはERSSへの伝送の全体像、EAL判断のために必要な情報の伝送計画を明確にすることを伝えた。

日本原子力研究開発機構から、再検討後説明を計画する旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 核燃料サイクル工学研究所緊急時対策支援システム(ERSS)の伝送項目及び整備スケジュールの見直しについて(日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所)